

2020年7月21日

報道関係各位

株式会社西武ライオンズ
エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

「メットライフドームエリアの改修計画」に伴う 「Lions Wi-Fi」のエリア変更等について

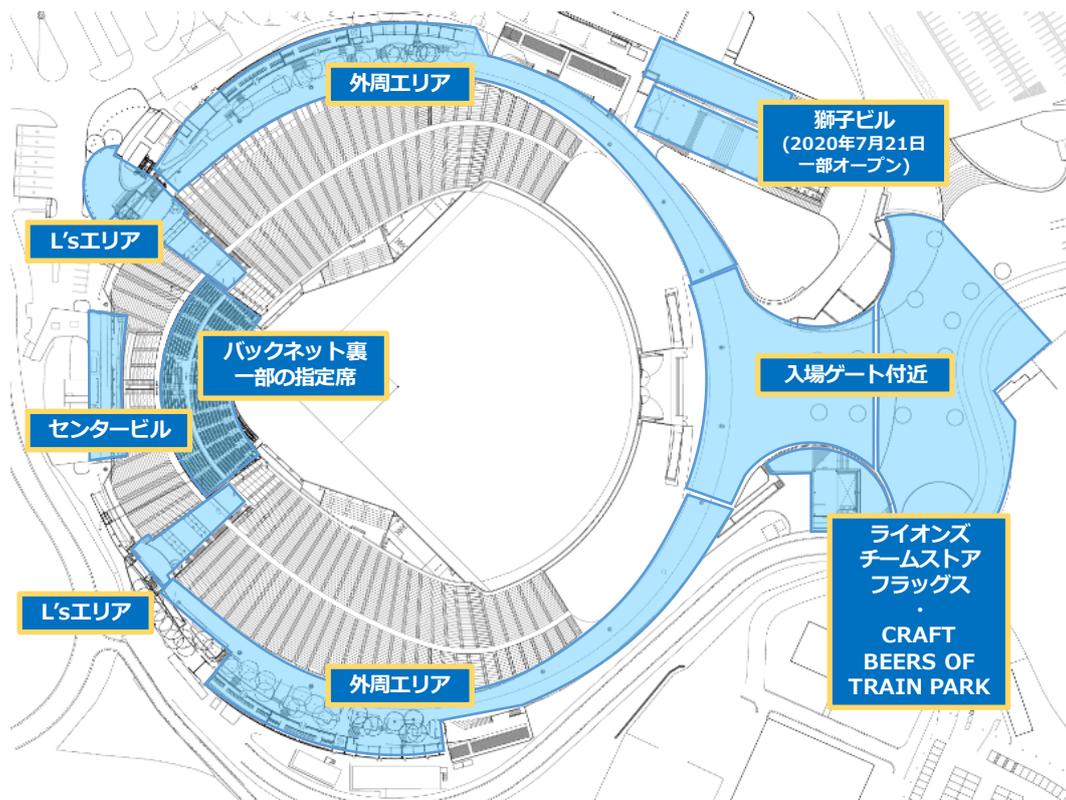
株式会社西武ライオンズ（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：居郷 肇、以下、西武ライオンズ）とエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村 浩、以下、NTTBP）は、西武ライオンズが2017年11月に発表しました「メットライフドームエリアの改修計画」内の「スマートスタジアム化の加速」の一環として、NTTBPが2013年3月から埼玉西武ライオンズの本拠地、メットライフドームにて提供している高品質なフリーWi-Fiサービス「Lions Wi-Fi」の対象エリアを、この度、変更いたしました。

対象エリアが拡大するのは、7月21日(火)にオープンする大型フードエリア「グリーンフォレスト デリ&カフェ」や新グッズショップ「ライオンズ チームストア 獅子ビル」などが入る獅子ビルのほか、1塁側の新エリア「トレイン広場」、飲食売店などが立ち並ぶ外周エリア、多くのお客さまが行き交う入場ゲート付近などです。一方、観客席に関しては、スマートフォンを見ることで打球の行方に気が付かないなどの安全上の観点などから、対象エリアを縮小いたします。

また、より一層便利に安心してご利用いただけるように、フリーWi-Fi認証ページのデザインを刷新し、NTTBPが2019年12月より提供を開始しているスマートフォン向け自動認証アプリ「Japan Wi-Fi auto-connect」（以下、「Japan Wi-Fi auto」）にも対応いたします。

今後、ご来場いただくお客さまへ、「Lions Wi-Fi」を活用したメットライフドームエリアでしか体験できない様々なコンテンツや新たなサービスの提供によるスタジアム価値の向上をめざします。

1. 「Lions Wi-Fi」 ご利用可能エリア（下線は新たに提供を開始するエリア）



- ① メットライフドーム外周エリア：飲食売店、トイレ等
- ② 入場ゲート付近
- ③ 観客席：プレミアムシート S、プレミアムシート A、ネット裏エグゼクティブシート、ステンレスカウンター(内野立見指定席/外野立見指定席)
- ④ センタービル：オーナーズレストラン、スイートルーム
- ⑤ L's エリア
- ⑥ 獅子ビル(2020年7月21日一部オープン)
※2F 大型フードエリア「グリーンフォレスト デリ&カフェ」
3F 新グッズショップ「ライオンズ チームストア 獅子ビル」
- ⑦ ライオンズ チームストア フラッグス・CRAFT BEERS OF TRAIN PARK
- ⑧ CAR3219 フィールド(埼玉西武ライオンズ二軍本拠地)

新画面デザイン

The screenshot shows a web page for 'Lions_Wi-Fi'. At the top left is a logo with a Wi-Fi symbol and the text 'Wi-Fi'. To its right is the text 'Lions_Wi-Fi' with a Wi-Fi symbol. Below the logo is a language selection dropdown menu set to '日本語'. The main content area contains three bullet points: 1. '利用条件を確認し、利用規約に同意のうえ、「メールアドレスで利用登録」または「SNSでログイン」を行い、ご利用ください。' 2. 'Wi-Fiのセキュリティについて' followed by '本サービスは無線区間の暗号化を実施しておりません。' 3. 'Wi-Fiログの利用について' followed by '本サービスの利用履歴は、地域の観光・防災施策等に活用されま' and 'ず。'. Below the text is a section titled 'メールアドレスで利用登録' with a sub-label 'メールアドレスを入力してください' and a text input field. To the right of the input field is a blue button labeled '仮登録'. At the bottom, there are three social login options: 'Facebookでログイン', 'Twitterでログイン', and 'dアカウントでログイン', each with its respective icon.

【参考】サービス概要

- (1) サービス名称
Lions Wi-Fi
- (2) 接続方法
 - ① お手持ちのモバイルデバイスの Wi-Fi を ON にする
 - ② SSID 名“Lions Wi-Fi”を選択
 - ③ 専用サイトに接続
- (3) 利用可能時間
360 分／回
- (4) 利用料金
無料
- (5) エリアサイン



2. 「Japan Wi-Fi auto-connect」について

昨年12月より提供を開始した、新たなアプリケーション「Japan Wi-Fi auto-connect」（以下、「Japan Wi-Fi auto」）は、2013年11月より提供をしていた全国の自治体、公共交通機関、商業施設、観光拠点等で整備されているフリーWi-Fiにワンタップでつながるアプリケーション「Japan Connected-free Wi-Fi」（以下、「Japan Wi-Fi」）を刷新し、新たなアプリとして、自動的につながる機能を具備し、さらに省電力化も図ったものです。

「App Store」または「Google Play」にて無料でダウンロードいただけます。（※1）

5言語（日本語・英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字））に対応し（※2）、フリーWi-Fiの提供エリアに関する観光情報、店舗等のサービス情報等をご覧いただけます。



Japan Wi-Fi auto の 4 つの特長



- ① Wi-Fiスポットはコンビニ、駅など日本中にあります。
初回登録だけで全国のフリーWi-Fiに自動でつながります。
- ② 企業や自治体などの公式Wi-Fiだけにつながります。
公共施設、公共交通機関、商業施設等、提供元が明確で安心・安全なアクセスポイントだけにつながります。
- ③ “なりすまし”のWi-Fiを検知して遮断します。（※3）
Wi-Fiをご利用になるお客さまには見分けがつきにくい、正規のアクセスポイントに偽装したWi-Fi、いわゆる「なりすましアクセスポイント」にはつながりません。（※3）
- ④ 電波の弱いWi-Fiにはつなぎません。
Wi-Fi接続中に電波が弱く不安定になった場合は、自動的にモバイル通信に切り替わります。（Wi-Fi設定をOFFにする操作は不要です。）（※4）

※1 対応 OS は、iOS12.x 以降、Android6.0 以降です。

※2 5 言語に加え、更なる言語への対応は順次実施予定です。

※3 なりすましアクセスポイントとは、正規のアクセスポイントになりすますことで、利用者の接続を誘引し、情報の読取等を行うアクセスポイントをいいます。

※4 AndroidOS 版のみの機能となります。